

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SA4	地域環境論 Theory of Local Environmental Studies	矢部 隆	専門	2	選択	2年秋

科目の概要

この講義では地域環境に対して生物学的視点から次の4段階のアプローチをします。
 1) 地域環境の観察。市民参加型の活動としても注目される環境指標生物の活用について述べます。
 2) 地域の自然の本来の姿の把握。基礎知識として日本および東海地方の自然誌を概観します。
 3) 地域の自然環境の維持。地域の自然環境が現在どのような危機にさらされ、それを守るためにどのような取り組みがなされてきたか、あるいはなされるべきかを、具体例をなるべく多く紹介しながら説明します。
 4) 自然環境の創造。破壊されたり悪化したりしてしまった環境をどのように復元するかについて、最近注目を集めている近自然工法やビオトープを中心に説明します。

学修内容	到達目標
地域の環境の実態と本来のありようの話を通して、現代社会における人間の責務である生物多様性の維持、復元、再生に必要な正確な知識、知恵を修得する。	人間の生活および人類の存続のためには、地域の環境および生物多様性を、良好にマネジメント(管理)しなければならない。そのために必要なさまざまな知識を、ビオトープの健全な維持、保全、再生という観点で総括できる。

学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す 力	主体性	授業で紹介する参考文献を積極的に読んでください。
	働きかけ力	
	実行力	最近のテレビ番組には自然や野生生物、環境保全を扱ったものが多いので、積極的に視聴してください。またそれらに関わる新聞記事は切り抜きしてください。
考え抜く 力	課題発見力	自然環境の観察ポイントも講義するので、レポート作成の機会を含めて、身の回りの自然の状況を観察し、問題点を見つけてください。
	計画力	
	創造力	授業で得た知識により、地域の環境に対する無秩序な開発行為の人間の存続への悪影響、そして地域環境を適切にマネジメント(管理)したときの明るい未来を予測してください。
チームで働く 力	発信力	毎回の出欠票の記述欄に意見や質問を積極的に記入してください。次の授業でコメントや回答をします。
	傾聴力	慣れない自然科学的概念や専門用語が多数出てくるので、しっかり講義を聴いて理解してください。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	居眠りは授業の雰囲気や壊し、まじめに聴講している人のじゃまとなります。眠気には耐えてがんばって聴講してください。
ストレスコントロール力		

テキスト及び参考文献

教科書: 使用しませんが、資料プリントをしばしば配付します。
 参考書: 「指標生物」(平凡社)、「琉球列島」(安間、東海大学出版会)、「日本の外来生物」(平凡社)、「日本の絶滅危惧動物」(加藤・太田、保育社)、「図解エコロジー ビオトープ」(誠文堂新光社)、その他授業で紹介します。

他科目との関連、資格との関連

この授業では「ローカルな環境問題」を重点的に扱うので「グローバルな環境問題」を扱う生態学を合わせて受講すると、地球上の環境問題が総合的に理解できるようになるでしょう。生物学で得られる生物に関する知識はこの授業の理解を助けます。また矢部担当の演習や実習を選択するかもしれない場合には、この科目を履修しておくことが望まれます。

学修上の助言	受講生とのルール
特別の予備知識や技能は必要ありませんが、新聞やニュースで地域の自然環境や動物の話題が出たときには、少し注意深くなり、内容を把握するようにしてください。	聴くべき時にまじめに聴講している受講生の権利を、私は全力で守ります。したがって私語や電子機器の鳴動、遅刻、教室の無断退出などにはかなり厳しく対処します。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	45	①	✓	授業で紹介した重要な概念、法則、理論を理解し、試験問題に対して適切に解答できているかを評価します。	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
レポート			45		①	✓	自然物を40点採集して記録、分析をするレポートを課します。必要な情報をもれなく記載しているか、分析が適切であるかを評価します。
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(主体性) 参考文献や推薦図書を積極的に読んでください。出欠票で申告してもらいます。 (実行力) テレビ番組での特集を視たときには出欠票に意見を述べてください。新聞記事の切り抜きはノートに貼り付けて、一言意見を記してください。そのノートを期末に見せてくれれば、加点します。 (課題発見力) 授業で得た知識を活用して自然を観察し、興味深いことは出欠票に記してください。 (創造力) 授業で得た地域環境に関する知識を活用し、個人の在り方、人間の在り方を考え、出欠票に記してください。 (発信力) 毎回の出欠票の記述欄に意見や質問を積極的に記入してください。 (傾聴力) 講義をしっかりと聴いても理解し切れない自然科学的概念や用語は、口頭か出欠票で質問してください。 (規律性) 居眠りは授業棒以外と見なし、場合によっては減点対象とします。	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
授業で紹介した知識を80%以上身に付け、地域環境や地域の生物多様性について説明できる力が80%以上身に付いていれば優です。そのレベルが90%を超えたら秀です。	授業で紹介した知識を80%以上身に付け、地域環境や地域の生物多様性について説明できる力が70%以上身に付いていれば良です。そこまでのレベルに至らないけれども、知識や概念、法則、理論の理解のレベルが60%を超えていたら可とします。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	はじめに 現代社会において環境問題の理解がいかに大切かを説明します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
2週 /	環境指標生物 自然環境へのアプローチの実践として、自然環境を測るものさしとして活用できる環境指標生物について説明します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
3週 /	環境指標生物 自然環境へのアプローチの実践として、自然環境を測るものさしとして活用できる環境指標生物について説明します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
4週 /	外来生物 最近大きな問題になっている外来生物の現状と対策について説明します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
5週 /	絶滅危惧動物 人間の活動が原因で絶滅に追いやられている生物を紹介し、なぜ自然の生物を人の手で絶滅させてはいけないのかを説明し、対策を考えます。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
6週 /	池沼の現状と保全 ため池の存在意義と価値を説明し、今後どのように活用していくべきかを考えます。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
7週 /	河川の保全とダム問題 ダム建設や土手のコンクリート護岸、水質汚染などで傷付けられる河川について、存在価値を再確認し、活用方法を考えます。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
8週 /	海岸の現状と保全 海浜はダムのために痩せていき、干潟は埋め立てられ、日本の海岸は著しく変容しています。その現状を解説し、海岸の保全対策を考えます。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	水田の意義と活用 近年過疎化や減反政策その他により、水田は減っていき、それにともない農業用水やため池もなくなったり埋め立てられたりしています。その現状を報告し、水田の意義と活用について考えます。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
10週 /	里山の意義と活用 人が適度に手を入れる(適切な攪乱をする)ことにより維持されてきた里山の環境が現在悪化しています。その現状を述べ、今後の里山とのあり方について話します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
11週 /	保全生物学の基礎1 1980年代に誕生した新しい学問である保全生物学を紹介します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
12週 /	保全生物学の基礎2 保全生物学が基本原理としている生物多様性について少し詳しく説明します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
13週 /	ピオトープとは何か 最近マスコミでもしばしば取り上げられるピオトープですが、誤解も多いように見受けられます。そこでここではピオトープの正しいあり方について説明します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
14週 /	ピオトープの実際と実践 ピオトープ活動の実践例と多数紹介します。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力
15週 /	おわりに 14回までに学んだことを踏まえ、地域の環境問題にいかに関わるかを考えます。	講義	内容の60%を理解していること。	予習は不要です。復習としては、配布資料の図表を見直してください。	180	傾聴力

能力名: ①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力